



おのまち

社協だより

～人と人が共に助け合いやさしさあふれるまちづくり～



小野町デイサービスセンターにおいて、田村警察署小野分庁舎の方より、なりすまし詐欺被害予防の講話が行われました。

被害に合わないためのポイント

- ☆ 留守番電話を使いましょう
- ☆ わからない電話はきりましょう
- ☆ ひとりでなやまず家族や警察に相談しよう



平成30年度決算及び事業報告

法人運営事業

〈組織運営事業〉

理事会 3回
評議員会 1回
臨時評議員会 1回
評議員解任・解任委員会1回
監査会 2回
第三者委員会 1回
社会福祉協議会会費 2,969戸
寄付金
篇志 10件 232,045円
遺志 94件 3,260,000円
合計 104件 3,492,045円

〈心配ごと相談事業〉

資金の相談 4件
金銭管理 1件

〈生活困窮者自立支援事業〉

生活福祉資金貸付事業(県社協) 18件
福祉基金貸付事業(町社協) 12件
自立相談支援機関(就職活動) 10件

〈日常生活自立支援事業〉

契約者数 9名
相談件数 192件
対応時間 189時間

〈地域福祉事業〉

ふれあいあったかサロン 18団体
障がい者サロン 1団体

〈在宅福祉サービス〉

寝具丸洗い乾燥消毒サービス 29名
出張理髪サービス 18名

〈福祉車両・備品貸出事業〉

福祉車両 23件
車椅子貸出 22件
介護ベット 1件

〈広報活動事業〉

社協だより(年3回発行)
ホームページ運営

〈各種団体への支援〉

福祉団体への助成事業 6団体
三世交代事業 10団体

〈敬老会事業〉

75歳以上 敬老者1,873名(参加者286名)

〈百歳賀寿事業〉

百歳賀寿贈呈者 4名

〈ボランティアセンター事業〉

ボランティア登録者79名(6団体)
ボランティア幹旋15件

障がい者福祉事業

計画作成 68件
モニタリング 97件
障害支援区分認定調査等業務受託 23件

共同募金事業

〈赤い羽根共同募金〉

赤い羽根共同募金総額 1,843,464円

赤い羽根配分金

広域配分 817,000円
地域配分 1,026,464円

〈歳末たすけあい募金〉

歳末たすけあい募金総額 943,621円
歳末たすけあい見舞金配分件数 188件 940,000円

日本赤十字社事業

日赤社資 2,976件

小野町地域包括支援センター

〈包括的支援事業〉

総合相談支援業務 885件
権利擁護業務 4件
包括的・継続的ケアマネジメント 支援業務
介護支援推進会議の開催 4回
介護支援専門員からの相談 63回

〈地域包括支援ネットワークの構築〉

関係機関や団体等が開催する会議等に参加

〈指定介護予防支援事業〉

ケアプラン作成件数 871件

〈地域包括ケアシステム構築〉

地域ケア会議、在宅医療・介護連携 推進事業、
生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業

介護保険事業サービス

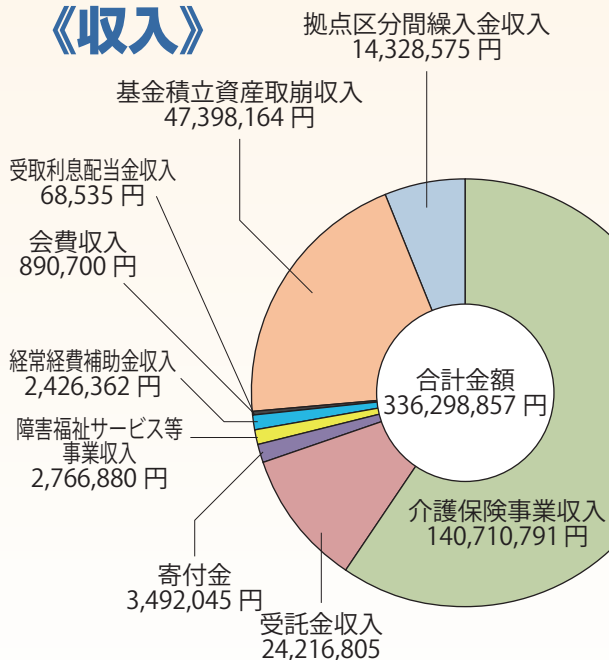
〈居宅介護支援センター〉

居宅介護支援介護料 1,756人
認定調査受託業務 72件

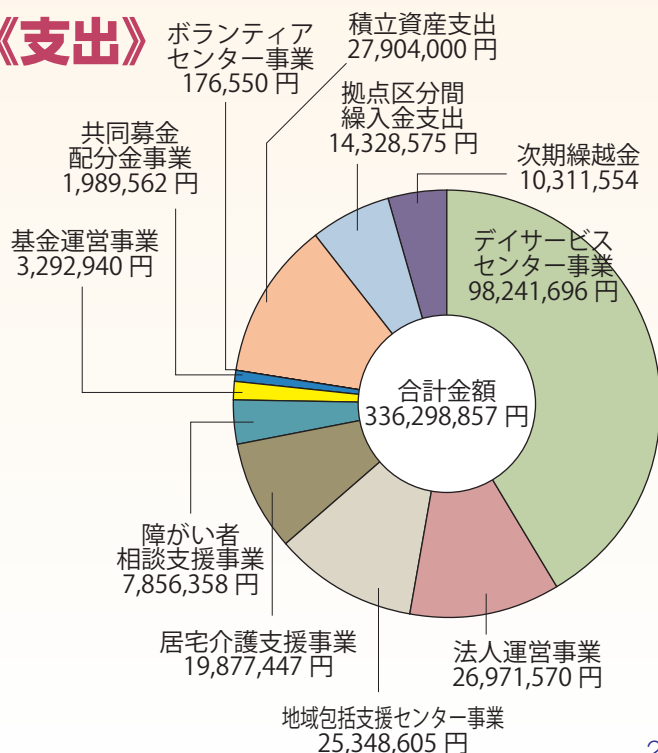
〈デイサービスセンター〉

通所介護 延利用者数 10,066人
認知症対応型通所介護事業 延利用者数 2,206人

《収入》



《支出》



第29回サマーショートボランティアスクール 活動報告

7月22日～8月20日



サマーショートボランティアスクールは、町内の福祉施設でのボランティア体験学習をとおして、介護や支援を必要とする高齢者・障がい者との交流を深めながら、人を思いやる優しい心を養うことを目的に実施されております。

今年からは新たに、小野公立総合病院様にご協力をいただき、医療機関での活動も可能になりました。

参加者のみなさんは、創作活動、食事や入浴介助、環境整備、共同作業などの活動を行い、目標達成に向けて、真剣に取り組む姿を見ることができました。参加された生徒の方々からは「貴重な体験をすることができました」「また、参加したいです」などの感想も寄せられました。

ご協力していただきました施設の皆様ありがとうございました。

小野町中央さくら保育園



小野高校 2年
安藤 楓華

3日間の体験で学んだことは、年齢差による子どもたちの変化です。一歳違うだけでこんなにも変わるものかと驚きました。反省から学んだことは、ボランティア活動において少し消極的であったことです。これからは何事も積極的に行動していきたいと思います。将来に向けて多くのことを学びました。



小野高校 2年
松本 彩音

初日は戸惑いもありましたが、保育園の先生たちのアドバイスを受け、子どもたちの挑戦する気持ちを受け止め、一緒になって考えてあげることの大切さを体験し、今回のボランティア活動の目標をより具体的にすることができました。学んだことを大切にこれからも目標をもって頑張っていきたいと思います。



学法石川高校 3年
石塚 琴美

子どもたちが年齢とともに変化する体と心の成長、身の回りのことや着替えなど生活面についても年齢ごとの成長がみられ、すごいと感じました。先生の「大変だけど子供たちの成長を身近で感じることができ、とても楽しいですよ」との言葉に、私も子供たちと向き合える保育士になりたいと思いました。



学法石川高校 3年
芳賀 美咲

私は小さいころから保育士になることが夢で、保育体験は中学校の時から今回で3回目でした。クラス別に体験しましたが、1歳、2歳違うだけで子どもたちの成長の違いを改めて実感しました。大変なことのほうが多いと思いますが、やりがいのある職業だと感じました。将来に活かしていきたいです。

社会福祉法人小野町社会福祉協議会小野町デイサービス



小野高校 2年
吉田 匠美

3日間多くのことを学びました。利用者の皆さんへの対応が心配でしたが、やさしく接していただき、お風呂の介助で「ありがとう」と言われたときは、とてもうれしく思いました。今回のボランティアでは、私に足りないことを目標としましたが、次のボランティアでは目標が達成されるよう頑張りたいと思います。

NPO 法人ほっと プラスこまち



小野高校 2年 鈴木 星

就労されている方との作業や昼休みのゲームなど楽しく交流を図ることができ、また、部活の関係から一人で食事する時間が多い私には、話をしながらの食事はとても美味しく感じました。今回の充実したボランティア経験を今後の学校生活や日常生活に活かし、積極的に活動していきたいです。

社会福祉法人田村福祉会 特別養護老人ホーム こまち荘



小野高校 1年
伊藤 花菜

まず感じたのは、大変な仕事と思いました。入所者の皆さんが「大変だね、頑張ってるね」と優しく声をかけていただき、社会福祉士を目指す私にとっては、励みと嬉しさを感じました。

今回の福祉体験では、多くのことを学ぶことができましたが、特に「笑顔」が大切だと思いました。

また参加してみたいと思います。



小野高校 2年
佐久間 智也

今回のボランティアでの体験は、入所者皆さんに対するお風呂や移動の介助などでした。職員の皆さんは報告、連絡、相談がスムーズにされており、忙しい中でも自分の

役割に基づき介護を行っていました。緊張の中での体験でしたが、声かけなど皆さんとの会話をもっとできればよかったと思いました。

社会福祉法人啓誠福祉会 特別養護老人ホーム さくら



小野高校 2年
溝井 絵理香

介助の難しさや一人ひとりの状況にあわせた対応などを学ぶことができ、職員皆さんの入所者さんへの細かい配慮は素晴らしいと感じました。また、「コミュニケーション

能力の大切さ」、「思いやり」、「積極的な行動」などの大切さも身につけることができました。今後の進路に活かしていきたいと思います。



小野高校 2年
遠藤 綾

ボランティアに参加し、入浴や食事介助など介護に関する多くのことを学びました。特に、コミュニケーションが苦手な私でしたが、自分から声をかけ笑顔で応えてくれた

ときは嬉しく思いました。介護に大切なことは「笑顔」だと、このとき感じました。誰からも感謝され、人を笑顔にさせる介護員を目指し頑張ります。

デイサービスセンターあすか

小野高校 1年
佐藤 海斗

入浴介助をはじめ、高齢者の皆さんのお世話をして「ありがとうございます」とお礼を言われ、嬉しく思いました。今回のボランティアはとても楽しく介護士の仕事に興味を持ちました。これから介護士を目指し頑張ります。また来年も参加したいと思います。



小野高校 1年
河合 麗羅

中学生の時デイサービスでのボランティアを経験しましたが、前回より成長したところは、笑顔で上手くコミュニケーションが取れたことです。また、洗濯物を干したことがない私が何気なくできたことも嬉しく思いました。介護福祉士を目指す私にとって、少しずつ夢に近づいて来たように感じた3日間でした。



株式会社さくら corporation 機能訓練センター さくら



小野高校 2年
坪井 智佳

初日は、不安と緊張の中、行事などに参加しながらの活動でした。2日目は前日できなかった声かけもできるようになり、3日目では目標とした利用者さんとのコミュニケーションもスムーズにでき、楽しく過ごすことができました。今後も積極的に参加し、高齢者の皆さんとの交流を深めていきたいと思っています。



小野高校 2年
横田 愛海

学び感じたことの一つには、個人の「尊重」と一人ひとりの身体機能に合わせた対応が大切だということです。また、「笑顔」でのコミュニケーションの重要性や気持ち

を相手に伝える言葉の大切さも実感したボランティア体験でした。これからは、気持ちを伝えるための言葉や表現力を高めていきたいと思っています。

まちづくり小野グループホームさくらんぼ



**小野高校 1年
猪狩 瑠生斗**

体験2日目からは慣れてきて、楽しい時間を一緒に過ごすことができました。準備したメッセージカードを読んでもらえ

た時は嬉しかったです。少し大変なこともありましたが、頑張ったと言われたときは、言葉は人を元気にしたり感動させたりするものだと思います。来年も参加して体験したいと思います。



小野高校 2年 永山 萌

初めは入居者さんや職員の皆様とコミュニケーションをとることで頭がいっぱいでした。2日目は入浴介助などを教えていただき勉強になりました。ユニットでの活動では、入居さ

れている皆さんとのコミュニケーションの取りかたの難しさを感じました。今回参加はよい経験となりました。



小野高校 2年 大沼 美鈴

最初はうまく話すことができませんでしたが、2日目は皆さんとお話をするのができ、一つの目標が達成されました。3日目は介護やレクレーシ

ョンで2日間の体験をもとに積極的に取組むことができ、目標が達成されたかと思いました。私にとりましてこの3日間充実したボランティアとなりました。

公立小野町地方総合病院



小野高校 2年 根本 美咲

今回の体験で感じたことは、医療現場でのコミュニケーションの重要性と看護師さんの役割です。医師と患者さん、家族との間での看護師の役割、命にかかわってしまうこともあ

り、医師の指示に従い、迅速に動くことの大切さなどについて知ることができました。今回の体験を契機に誰からも頼られる看護師を目指します。



小野高校 2年 吉田 亜衣

医療の現場ということで初日緊張をしていましたが、丁寧に教えていただきお手伝いすることができました。将来、看護師を目指している私にとって、この3日間は看護師の仕事が少しわかり、また、進路の相

談もできて充実したボランティア体験でした。これからも看護師を目指し頑張ります。



**小野高校 1年
鹿又 七海**

緊張の中のスタートでしたが、受付及び検査への案内では、患者さんに寄り添った案内が少しできたかと思っています。3日

間、看護師さんや受付の皆さんから声をかけていただき、私に元気を与えてくれました。自分も人の気持ちがわかる看護師になりたいと思います。次回も参加し体験したいと思います。

は～とらいふ小野



**小野高校 2年
石塚 萌唯**

2回目の参加でしたが、夏祭りの準備や地域の方々との交流もあり、とても充実した3日間でした。は～とらいふ小

野は、小規模多機能型居宅介護施設ということで、家庭的な雰囲気の中で明るく暖かい施設でした。私自身、通いを中心として短期の宿泊、訪問を一つの施設で行うことに驚きました。今回のボランティア経験を今後の活動に活かしていきます。



郡山東高校 3年 渡辺 明穂

3日間の福祉・介護体験を通じ、コミュニケーションや、利用者の方のことを理解して接することの大切さを感じました。また、気持ちを同じくすると自然と笑顔で接することができまし

た。3日間は新たな発見も多く、有意義に充実した体験となりました。大学進学後は、福祉・介護について学び、社会に貢献できるよう頑張ります。



郡山東高校 3年 島本 恵里

高齢者施設と保育園で貴重な体験をしました。人と人が関わる職は、心と心を通わせなければ成り立たないことや、保育園は働くお母さんやその子供たちにとって、なくてはな

らない施設ということを知りました。私の夢は、児童養護施設での指導員として働くことです。3日間の体験を活かし、夢の実現に頑張ります。

おのまちあったかサロン紹介



浮金ふれあいサロン

令和元年9月より、新たな
サロン団体が開設されました。

■日時

每週第1木曜日
13時～15時

人数
25名

■場所 浮金集落センター
■内容 茶話会、軽運動など

令和元年、小野運動公園において、小野町防災訓練が行われました。

小野町社会福祉協議会では、日赤奉仕団すみれ会と合同で、200食分のカレーライスの炊き出し訓練に参加しました。

また、緊急避難所開所・住民避難訓練において、災害ボランティアセンターの立ち上げを行い、要支援者の方を福祉車両にて、福祉避難所へ移動する訓練にも参加いたしました。



小野町防災訓練

福島県赤十字大会

令和元年7月18日、とうほう：みんなの文化センターにおいて「福島県赤十字大会」が行われました。今回は、日赤創設130周年記念大会により、日本赤十字社名誉副総裁 寛仁親王妃信子さまが出席され各受賞者へ授与されました。

金色有功章

柏原
ヒサエ

鈴木 三三

サツキ

銀色有功章

熊坂 千子

横田 キクヨ



善意のご寄付ありがとうございました

篤志



『社会福祉のためにお役立てください』と、社会福祉協議会に対し多くの方々より多額のご寄附をいただきました。お寄せいただいた浄財は、社会福祉事業の資金として役立たせていただきます。

今回は令和元年6月から令和元年9月までにご寄付いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。(敬称略)

遺志

吉大伊小根吉村石今竹小吉石小	村谷藤野本田上戸泉田野井杉	浩悦純國幸健一浩隆博靖政菊新	美子子男夫一裕男美彦明夫一	(谷津作) (中通) (反町) (雁股田) (吉野辺) (塩庭一區) (飯豊上) (中通) (小野山神) (谷津作) (雁股田) (小戸神) (浮金) (反町)	(故母吉村章子) (故母大谷トミ子) (故夫伊藤政美) (故母小野幸子) (故父根本勝男) (故父吉田國光) (故祖父村上一義) (故母石戸多三子) (故父今泉昌博望裕) (故父竹田野ヨシノ) (故母小吉石キヨ子) (故母小杉テツ)
----------------	---------------	----------------	---------------	---	---

鈴木	徹	(雁股田)	(故大叔母	鈴木	イチ
上遠野	勝一	(仲町)	(故母	上遠野	良子
大樂	富男	(大八)	(故母	大樂	ツネコ
大竹	川秀樹	(中通)	(故父	大竹	川吉
熊谷	源次	(小戸神)	(故母	熊谷	スイ子
長窪	幸男	(飯豊中)	(故義母	今泉	サクエ
國分	強	(飯豊下)	(故義母	國分	サク
吉田	良一	(小野山神)	(故母	吉田	ノブ
郡司	正春	(谷津作)	(故父	郡司	春男
富田	美千代	(浮金)	(故父	富田	吉夫
秋元	光裕	(横町)	(故妻	秋元	敏
宗像	裕也	(吉野辺)	(故父	宗像	博一
吉田	寛	(中通)	(故祖母	吉田	マサ子

デイサービスセンターだより

行事



敬老会 (9月16~19日)

長寿と今後の健康を祝してデイサービス敬老会を開催しました。余興ボランティアの方々を招き歌や踊り、演奏を披露していただき、利用者の方へ記念品をお渡しいたしました。これからもお元気にお過ごしください。



七夕

今年もたくさんの願いごとを短冊にこめて七夕飾りを行いました。短冊には、「元気に笑顔で過ごせますように」などの願いごとがされていました。



夏祭り

射的や的あて、モグラたたきなど楽しい催しを行いました。利用者のみなさんは、懐かしい遊びに夢中で楽しんでいました。



利用者作品展



田村 ミヤノ様 作



鈴木 清一様 作



郡司 志之武様 作

～赤い羽根共同募金にご協力をお願いします～

今年も、皆様のあたたかいご協力をお願いします。



2,787,085円

